



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	追悼・浅井正三先生
Citation	基督教学, 35, 38-39
Issue Date	2000-07-07
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/46619">https://hdl.handle.net/2115/46619</a>
Type	other
File Information	35_38-39.pdf



本学会名誉会長、浅井正三先生は、一九九九年二月一六日、逝去されました。本学会の設立と発展に対する先生のご貢献を思い、ここに謹んで哀悼の意を表わします。

浅井正三先生略歴

- 一九一四年 東京に生まれる。
- 一九三二年 東京大神学校入学。
- 一九三五年 ローマ留学（一九四六年まで）。
- 一九三九年 プロバガンダ大学神学部卒業。
- 一九四一年 ラテラン法科大学卒業。
- 一九四五年 教皇庁立聖書研究所卒業。
- 一九四六年 帰国、札幌教区北一条教会、円山教会、大麻教会にて司祭。
- 一九六一年 北海道基督教会設立に中心メンバーとして参画、理事。
- 一九七二年 札幌カトリックセンター専従。
- 一九七六年 北海道基督教会会長。
- 一九七八年 札幌ベネディクトハウス館長。
- 一九八八年 北海道基督教会名誉会長。



# 追悼・浅井正三先生

土屋 博

私的な経験で言えば、学生時代から今日にいたるまで、変わらざる敬愛の念をもって接し続けることのできた教会の聖職者は、カトリックとプロテスタントを通じて、結局、浅井正三先生だけでした。四〇年前、円山教会で開かれた学生の集会において初めてお会いした日のお姿を、昨日のことに思い出します。卒業後期せずして、北海道基督教学会の事務局を担当することになり、長年にわたって先生のご指導をいただきました。特に先生が会長を務めて下さった時期には、カトリックとプロテスタントのバランスが保たれ、私たちは安心して学会の運営にたずさわったものです。その間、暖かく寛大なまなざしに見守られて、何人かの若い研究者が育ち、今日もなお本学会を支えています。北海道の地でキリスト教を研究することの難しさと意義を、先生はつぶさに理解しておられたように思います。今なすべき業を終えて天に帰られた先生のあとに残されたこの地上の空白を、私たちは心を新たに充たしていかねばなりません。